



清水奥ノ院

京都 清水寺

大同二年に創建された西国三十三所第十六番の靈場である。西樓門は慶長十二年の建築で、今の本堂は寛永十年、徳川家光の再建である。本尊は十一面千手千眼觀世音立像高さ八尺、化人の作と云ふ。

(京ことば)

すこい

(するい)

てんご

(じょうたん)